

# 第5回 那珂市議会報告会 記録

## 1 開催概要

(1) 平成 29 年 5 月 24 日 (水) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分  
ふれあいセンターよこぼり

①出席議員 14 名

中崎議長、遠藤副議長、富山議員、花島議員、筒井議員、寺門議員  
小宅議員、綿引議員、木野議員、萩谷議員、勝村議員、笹島議員  
君嶋議員、福田議員

②参加者 20 人

(2) 平成 29 年 5 月 25 日 (木) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分  
ふれあいセンターよしの

①出席議員 14 名

中崎議長、遠藤副議長、大和田議員、富山議員、筒井議員  
寺門議員、小宅議員、木野議員、古川議員、萩谷議員、勝村議員  
笹島議員、助川議員、君嶋議員

②参加者 16 人

## 2 報告内容

(1) 議会運営委員会報告

①那珂市議会の概要

②議会運営委員会の概要

③議会改革の推進状況

④議員勉強会の実施状況

⑤議員定数・報酬等の改正

⑥定例会の流れ

⑦3月定例会議案・那珂市議会基本条例・議会報告会について

(2) 総務生活常任委員会報告

①那珂市空き家等の適正管理に関する条例について

②廃校の利活用について

(3) 産業建設常任委員会報告

①那珂市区域指定について

②静峰ふるさと公園魅力向上事業

(4) 教育厚生常任委員会報告

①平成 29 年度に増額した予算について

②公立幼稚園建設事業について

③那珂市小中学校における土曜日等授業の実施について

④「かわまちづくり支援制度」について

⑤調査事項「子育て支援」について

- (5) 原子力安全対策常任委員会報告
  - ①那珂市広域避難計画及び避難ガイドマップについて
  - ②気体廃棄物の放出状況について
- (6) 原子力安全対策常任委員会報告
  - ①平成 28 年度の主な活動内容
  - ②設置目的
  - ③災害対応指針の策定について
  - ④原子力災害時の避難ルートの確認について

### 3 意見交換記録

#### (1) 平成 29 年 5 月 24 日 (水)

- 参加者 空き家問題について、お亡くなりになった時など戸籍から除籍されたときに、窓口の聞き取り調査で、空き家になる可能性を把握して対応できるのではないか。  
教育問題について、小学生の通学路が長い例について、「歩くのは体によい」との考えが示されたことがあるが、通学に時間が掛かるのは、今の時世にあっていない。
- ◇議会 空き家問題は、戸籍の除籍時に調査するのは良い考えかと思えます。執行部に話します。
- ◇議会 遠距離通学は、委員会で再度話し合い執行部と相談したいと思えます。
- 参加者 空き家対策は、平成 24 年 12 月に 4 人の議員が 7 回取り上げている。平成 27 年 12 月に特措法ができた。それでも那珂市は作らなかった。菅谷の特定の空き家の問題が出て、このたびようやくできた。私のところも隣が 10 年空き家、その隣は 30 年空き家で、一つは管理不十分、もう一つは特定空き家、早く市で何とかしてほしいと思っている。これまでなぜやらなかったのか。  
空き家の数を自治会を通して調べた。平成 27 年に空き家が 877 軒、うち特定空き家が 107 軒とのことだった。市で詳しく調べると言っていたが、107 軒の特定空き家についてどう対応が進んだのか。
- ◇議会 この条例ができたのでやっと動きができるようになりました。執行部に早急に対応するように促します。
- 参加者 環境市民会議というものがあり、その中で空き家問題が議論されている。都市環境部会の中で、市民レベルで何ができるかを議論している。草刈りなどができるかと話しているが、市民レベルでできることは限られている。行政との連携が必要。管理の仕方等教えてもらいたい。
- ◇議会 いい那珂暮らしキャンペーンをしていますが、「空き家があ

るよ」、「貸してもいいよ」という声があれば、市民・市議会・執行部が一緒になって、需要とのマッチングをとり、1軒でも空き家が少なくなるようにしたいと思います。

- 参加者 緊急時避難計画について、福島の場合を見ると、風向きなどで、逃げた場所からさらに別の場所に逃げなければならない例があった。我々の場合も、筑西市、桜川市が不適切になることもあるので、別の場所も用意しておく必要があるのではないか。
- ◇議会 風向き次第であり、複合災害への対応もできていません。県の指導でやっていますが、十分な体制ではありません。これからより良いものを作っていかなければならないと考えます。お世話になる受け入れ先との事前の交流も必要だと思います。
- 参加者 避難するのは那珂市だけではない。試しに移動してみると1時間、2時間で行けても、実際の場面で大勢が動けば、5時間、6時間かかることもあり得る。
- ◇議会 自分の自動車で移動できない人のためにバスなどを手配しなければなりません。自治体同士で奪い合いになることも考えられます。また、非常食料の備蓄管理など、いろいろな課題がある事は認識しています。
- 参加者 幼稚園が統合されると聞いた。すると空き施設ができる。それを自治会などで活用できるようはかってほしい。
- ◇議会 今後の課題とし、執行部と協議していきます。
- 参加者 指定ごみ袋の件は、過去に爆発事故が起きたが、粗大ごみのせん断機の中で、テーブルガスコンロらしきものの爆発で被害があったと聞いている。また、粗大ごみに塗料用のシンナーがあり爆発したと思われる被害があったと聞いた。

粗大ごみで事故があったが、粗大ごみを出すときに氏名を書かせるようにはなっていない。以前の事故に直接関係ない資源ごみや燃えるごみに氏名を書かせるのは本末転倒ではないか。

市の環境課に話したが、時間をくださいと言われた。「燃えるごみには名前を書かなくて良いのではないか」と市議会から市に強く申し入れてほしい。
- ◇議会 議会も環境課と話をしています。市がまちづくり協議会に諮ったようですが、「ごみの減量化」、「責任所在を明記したほうが良いのでは」との意見があり、無記名で良いとすることは進んでいません。
- 参加者 農業問題について、有ヶ池土地改良区の額田小から那珂二中に行くところは、土地の所有者は大勢いるが耕作しているのは2軒、4軒でほかは外の方が作ってくれている。水利の代金は土地所有者が払っている。使用者に払ってもらいたいこそ

うならない。良い考えはないか。

那珂市の中でも額田第3自治会は道路整備が進んでいない。ある道は、整備されると聞いたが1人の地権者が反対していてできていない。一体どうすればよいのか。

教育について、横堀小から那珂二中に行くが、小中一貫ということで青遥学園と名前を付けているが、公式の名前ではなく、外部には通用しない。小中の連携は当たり前だと思うが、外に通用しない名前を使うのはやめてはどうか。

◇議会 水利問題については、市内いろいろな地区で問題を抱えています。水利料金は土地所有者が払い、耕作者は払わない、それでよいのかということはありません。土地改良区、農業委員会、農政課とどうしたらよいかきちんと話し合いたいと思います。

◇議会 道路については、自治会からまちづくり委員会に対して要望を上げてもらって、まちづくり委員会で優先順位を付けてもらいますが、決まってから5年はかかります。30年近くできないというのは申し訳ないです。

早くと言われて、難しいところもありますが、まちづくり委員会のほうにご相談ください。

◇議会 小中一貫は、小学校6年から中学校1年へのギャップがあり、それを緩和しようとはじめました。小中一貫の以前は、小学校と中学校の交流はほとんどありませんでした。学園名については別々でも一つの学園としての連携を高めたいということで付けました。

○参加者 狭あい道路と排水溝の整備は、平成25年と26年に承認されているが、毎年予算がないとして始まらない。県や国からお金をもらうことを考えてくれないか。

また、廃校の利用は、3世代交流や環境学習ができる場にしてもらいたい。

◇議会 道路、排水溝整備について、見通しが分からないのは困るということは執行部に言っているところです。目途が早く見えるように努力したいと思います。

◇議会 廃校については、本米崎小学校と戸多小学校が廃校になりました。戸多小学校は、地域交流センターと教育支援センターに利用されますが、施設全てを使うわけではありません。3世代交流の場としても良いのではと提案していきたいと思います。

○参加者 私道を20戸弱が使っているが、砂利道。何とか舗装してほしいと市に要請しているが、私道は整備できないと言われてる。何とかする特例はないのか。

◇議会 特例は把握していません。この場ではお応えできません。

○参加者 公共下水道普及率は49%で、年に1%しか進まない。那

珂市が 100% できるまでには 50 年待つことになる。でも 1% でもやっているのは素晴らしい。

◇議会 公域下水道はやめて、お金がかからない早くできる別の方法を考えましょうと言っています。

平成 33 年度までの建設計画は決まっている計画で進みますが、今年からは平成 34 年度からの建設計画を決める時期です。毎年約 6 億円使っていますが、全体で 400 億円くらいかかる計算なので、今は違う方法を模索しています。

市町村が合併浄化槽を設置して、利用者から利用料をもらうという市町村合併浄化槽という方式もあります。今までの方式が決して良いとは考えていません。

(2) 平成 29 年 5 月 25 日 (木)

○参加者 空き家条例を早く施行してほしい。

◇議会 4 月から施行されています。

○参加者 区域指定の説明会に参加したが内容がよくわからない。なぜ説明不十分のまま急いだのか。市民とじっくり話し合いをしてほしい。

また 11 号区域も今後検討とあるが、那珂市は政令指定都市のようなコンパクトシティはなじまないのではないかと。

◇議会 那珂市の場合は 12 号区域でまずは始めたいとのことでした。出身要件の除外のみとなっています。11 号区域については今後の人口動態を見てから導入を検討します。

○参加者 静峰旧しどりの湯は復活予定か。

◇議会 現段階では具体的案は決まっています。まずはしどりの湯のまわりの静峰公園から整備をはじめます。利活用は考えています。

○参加者 空き家に対する実態調査を行ったが数は。

◇議会 870 棟の空き家があり、そのうちの 107 棟は危険性のある特定空き家となっています。

○参加者 国の定める空き家特措法と那珂市空き家条例の違いは。

◇議会 大きな違いはありませんが、外壁落下等の緊急安全措置を付け、地元要望から迅速に対応できます。小回りが利きます。

○参加者 災害対応調査特別委員会を設置したが、災害時に議員は何をするのか。

◇議会 常総市は災害対策本部に議員が入れませんでした。那珂市は執行部が対策本部を設置します。議会では議員間の連携強化と、各地域の被害状況の把握による災害対策本部との連携を図ります。

○参加者 要支援者に対する災害対応は。

プライバシーの問題があり、誰が保護対象者になっているの

かがわからない。オープンにしてほしい。

- 参加者 避難マップの配布方法について、自治会に加入している世帯は回覧で、自治会に加入していない世帯へは郵送というのはどうなのか。それならば全世帯郵送が望ましい。
- ◇議会 自治会組織は大変重要であるとも承知しています。執行部は自治会に入っていないなくても市民という考え方です。予算の都合上回覧も活用させていただきます。
- 参加者 原子力災害時に那珂市民5万5,000人が避難するのは無理。原子力を止めることが先決である。
- ◇議会 まず緊急時の避難先を示すことが重要です。改善できるものは改善していきます。
- 参加者 区域指定と幼稚園統合は相反している。区域指定の今後の対応は。
- ◇議会 都市計画税の不公平、インフラ整備を必要としないことが指定の要件になっているにもかかわらず、整備が必要となってくるのではないかという意見がありました。今後、議会でも注視していきます。
- 参加者 自治会加入率の差や減少が見られる。過去の基盤が次世代につながらない。どうするのか。
- ◇議会 自助、共助、公助の精神が大切です。議会としても自治会加入を促進しています。
- 参加者 那珂市の一般会計の1割を節約できないか。
- ◇議会 道路予算、各種団体補助の削減、庁舎内節水・節電はしています。
- 参加者 市の借金は何年で返せるのか。
- ◇議会 切り詰めているところは切り詰めています。例えば庁舎内の節水、節電をしています。また、公民館など市の施設の使用料も無料にしたいが、とらざるをえないのが現状です。職員の削減だけでは難しいと考えます。緊縮財政の中、那珂市財政はわりと健全なほうですが、早期返済と健全な財政を今後も進めていきます。
- 参加者 会議録をすぐ見られるようにしてほしい。
- ◇議会 要望中ではありますが、那珂市は予算の都合上専門の職員を置けません。今後も議会運営委員会で要望していきます。
- 参加者 菅谷地内旧歯科医院の件は、総務生活常任委員会の追及が足りない。行政も法に照らし合わせて対応を。
- ◇議会 建物の危険回避は済んでいます。執行部の対応待ちの状況です。
- 参加者 職員の時間外労働の状況は。
- ◇議会 具体的な資料がないので、追ってお伝えします。

- 参加者 原子力立地給付金を、個人的ではなく自治会を通してできないか。
- ◇議会 瓜連は給付されておらず、地域格差もあります。一般家庭に給付されているものなので難しいと思われます。
- 参加者 今年の市内自主防災はどのようにやるのか。
- ◇議会 まだ具体的ではありません。
- 参加者 自治会未加入者に対して、街路灯などの使用による共益費を税金でとれないか。
- ◇議会 委員会でも今後検討していきます。
- 参加者 行政人でも自治会未加入者がいる。差をつけるべき。
- ◇議会 議員それぞれの一般質問でも、委員会でも、自治会の加入促進に向けて様々な意見を議論しています。今後も皆様のご意見とお知恵を拝借して自治会加入促進をしていきます。
- 参加者 原子力は必要と考える。恩恵も訴えてほしい。